

特別支援学級

1 特別支援教育の目標

人間尊重の理念に基づき、生徒それぞれに応じた教育を施し、充実した学校生活を過ごさせるとともに、社会に出て明るい人間関係を作り、社会人として自立した生活を営むことのできる人間を育成する。

2 指導の方針

※基礎・基本の充実と社会での生活経験の拡大

- ① 基礎・基本を重点的に指導する。
- ② 実態に応じた交流に努める。
- ③ 生活経験の拡大を図る。
- ④ 自立心の育成を図る。（自己決定、自己判断）
- ⑤ 生活場面から題材を取り上げて教科指導を行う。
- ⑥ 個別指導の充実をはかる。
- ⑦ 保護者との連携に努める。

基礎・基本とは

- ・ 身辺自立
- ・ コミュニケーション
- ・ 移動能力
- ・ 体力
（行動体力、防衛体力、気力）
- ・ 集団参加
- ・ 自己統制

3 具体的な指導内容

※全教育活動を通して、実践していく。

（１）身辺処理能力

学用品等の準備	自分で準備できるようにする。 <u>学用品・水筒の準備、箸や上履きを洗う。</u> （保護者との協力、自立心の育成につなげる）
朝夕の着替え	着替えの正確さ、速さ、脱いだ物の整理整頓 身なりの確認の習慣化
衛生	タオル、ハンカチ、ティッシュの使い方 トイレの使い方の再確認、衣服の汚れ 身体の清潔（入浴指導、家庭との協力）
給食	嫌いなものも少しは食べる、適量、時間、マナー、交流
時間	登校・下校時刻、チャイム着席、見通しの持てる行動
決まり・約束	あらゆる場面で励行させる。（ルール、マナー）
安全	交通安全、火、刃物、遊び方、不審者対策

（２）コミュニケーション

挨拶	朝夕の挨拶、授業始め終わりの挨拶、会釈
言葉遣い	相手、場に合わせた言葉遣い（敬語） 生活ノートの利用、朝の会、買い物時の言葉遣い、先生方との連絡、その他
返事	「はい」元気な返事

報 告 ・ 届 け	内容を明確に言わせる指導 指示された活動が終わってからの報告の励行
-----------	--------------------------------------

(3) 移動能力

自 主 通 学	実態に応じて自主通学できるようにする
自 転 車 の 利 用	行動範囲の拡大 安全指導の徹底 ヘルメットの着用
交通機関の利用	行動範囲の拡大 (バス、電車の乗り方)
道 順 の 聞 き 方 (地図の見方)	行動範囲を拡大する 社会資源の活用

(4) 体力(行動体力、防衛体力、気力)

体 力 作 り	毎朝の体力作り(朝マラソン) 励みになる記録のつけ方、掲示、評価
体 育	柔軟性、バランスの向上を意識した指導方法 競争、協力、励まし合う場の設定 気力の充実(目標の設定、克服)
身体・体力測定	定期的の実施記録する。 個別的に補強、自己管理
保 健 ・ 衛 生	毎日の健康観察 疾病の予防 運動後の汗の処理 食後の歯磨きの励行 給食着の洗濯 食事と健康

(5) 生活経験の拡大(衣食住、余暇)

家 事 の 分 担	洗濯、掃除、炊事などの家事を分担することで、責任を持ってやり遂げられるようにさせる。(家庭との協力)
学 校 で の 補 助	毎日の掃除(やり方を知り、自主的に実行させる) 計画的な調理実習 家庭科的な授業の展開 趣味として卒業後もできる活動

(6) 交流の推進

先 生 方 と の 交 流	交流学級の担任と共に、連携して交流の場を設ける。
交 流 級 と の 交 流	行事等の取り組みを中心に交流する。 出席点呼 交流クラス 学年集会 交流クラス 全校集会 交流クラス がまっこ祭(体育祭) 交流クラス スキー教室(1年) 東京班別学習(2年) 修学旅行(3年) 合唱コンクール(学級の発表の場、理解推進) 三年生を送る会 始業式、終業式での意見発表(理解推進) 教科での交流・給食交流(個別に考慮)

他 校 と の 交 流	他校の特別支援学級の生徒と交流する。 2 学期 合同学習 3 学期 合同作品展、三年生を送る会 その他近隣の小学校との交流も考えていく。
-------------	---

(7) 自立心を養う

協 力	話し合い活動を取り入れる。 自分の意見の発表 自分の意見と違う意見の尊重 賛成多数の原則
計画からの参加	生徒の興味・関心ある活動を取り上げ、より自発的、自主的に活動させる工夫をする。
自 己 決 定	簡単な場面から徐々に、自分で判断をして決定し、自分の意見が発表できるようにする。
係 活 動	年間を通して、自分の係活動に責任を持たせ行わせる。 専門委員会にも個に応じ参加させる。
労 働 と 賃 金	将来の労働に向けて必要な知識（労働と賃金、生活とお金の関係等）について理解させる。
問 題 解 決 学 習	様々な問題に対して、自分で考え、理解し、解決できるように支援する。（気づき、考え、実行する）

(8) 進 路 指 導

進路選択・決定	自分で卒業後の進路を考え、決定できるよう支援する 学校見学、就学相談 （さいたま桜、羽生ふじ、草加かがやき草加分校、越谷西、その他） その他公立高校、通信制高校等
職安との連携	能力評価の実施（障害者職業センター） 会社訪問・見学 特別支援学校就学相談、入校手続き 職場見学・職場実習

(9) 保護者との連携

保護者との連携	情報を共有することを重視する。 A 学級通信の発行（約月 2 回） 生活ノートでの連絡 行事参加のお知らせ 学級 P T A 活動への参加 保護者会・個人面談の実施 必要に応じた教育相談
---------	---